

能登半島地震から1年。足もとの防災を見直そう

自助・共助・公助を理解しよう



約2m浸水した家屋



倒壊した電柱



能登半島地震の爪痕(石川県輪島市)

令和6年1月1日に発生し、関連死を含め300人超の甚大な被害となった能登半島地震から1年が過ぎました。地震や水害など、自然災害はいつ発生するか分かりません。そのとき、「まさか」では遅いのです。「もし」と考えて日頃から備えておくことが重要です。

近年発生した自然災害(一部)

発生時期	災害	発生場所(写真番号)
令和元年10月	台風19号	滋賀県高島市①
令和2年7月	豪雨災害	熊本県人吉市
令和4年8月	豪雨災害	福井県南越前町②
令和4年10月	台風15号	静岡県磐田市
令和6年1月	能登半島地震	石川県七尾市③



倒壊した建物

防災の基本は、自分の命は自分で守る「自助」家庭の備えをしておきましょう

いざという時のために、家庭で備えておきたいものには、就寝時に枕元に置いておく「防災6点セット」、「非常用持ち出し袋(リュックなど)」、「避難するときの持ち物」があります。

防災6点セット

災害発生直後にすぐ逃げるためのものです。靴下、スニーカー、ヘッドライト、呼子笛、携帯ラジオ、雨がっぱを、枕元に置いて就寝するように習慣づけましょう。

非常用持ち出し袋(リュックなど)

防災グッズのほかに、貴重品なども含まれます。家族の状況に合わせて非常持ち出し用、備蓄用を準備しておきましょう。

避難するときの持ち物

災害直後にすぐに持ち出せる量ではないかもしれませんが、すぐに分かる場所に備蓄しておきましょう。また、在宅避難することも考えて、水は多めに準備しておきましょう。

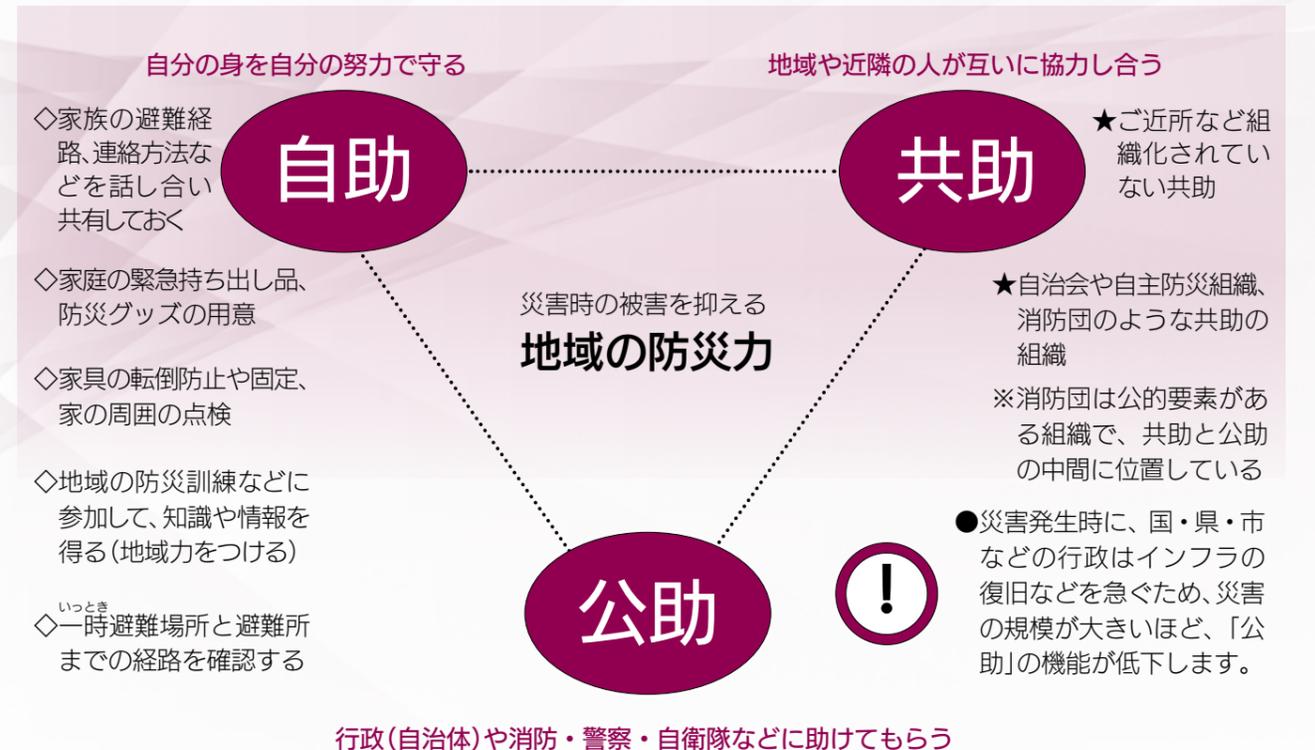
避難するときの持ち物

品目	備考	品目	備考	品目	備考
靴下	☆新品でなくてよい	ウエットティッシュ	★◇	三角巾	★
スニーカー	☆新品でなくてよい	マスク	★◇	乾電池各種	★
ヘッドライト	☆交換用電池も忘れずに	マルチツール	★五徳ナイフ	皮手袋・ニトリル手袋	★
呼子笛	☆防犯ブザーでもよい	アイマスク・耳栓	★	食品加熱袋・加熱材	★できれば
携帯ラジオ	☆ソーラータイプ	アルコール除菌剤	★	非常用給水袋	◇
レインコート(雨がっぱ)	☆防寒にも役立つ	無水シャンプー	★	携帯電話・充電器	日常的に使用しているものは、分かりやすい場所に置いて、すぐに持ち出せるようにしましょう
水	★当座の飲料◇飲料・生活用水	スリッパ	★	常備薬	
食品	★◇乾パン、ビスケットなど	軍手	★	携行品	
アルファ化米	★◇	歯ブラシ	★	化粧品・衛生用品	
非常用簡易トイレ	★◇	布テープ	★		
救急キット	★◇	レジャーシート	★		
ウエットボディタオル	★◇	使い捨てカイロ	★		

☆防災6点セットに含まれるもの ★非常用持ち出し袋に推奨するもの ◇備蓄しておきたいもの

災害時に身を守るための基本は「自助」「共助」「公助」の防災トライアングルが正しく機能することです

防災トライアングル



※災害発生時の人命救助の割合は、自助7、共助2、公助1になるといわれています